

一般助成(昨今の社会情勢により生活に困難を抱えている若い世代〔親子を含む〕への支援)

## 「子ども食堂と食育活動で広がる 子どもの健全育成とSDGs」事業

### 子ども食堂や食育活動などの食の視点から 多世代、多様な住民が連携して子育て支援を行う

困窮世帯への支援策として始まったが、現在では居場所づくりや子育て支援、食育活動の場としての機能にも着目されている子ども食堂。子どもの健全育成やSDGsという観点から、子ども食堂やフードバンクを設立し、地元住民や地元企業、高校生たちと一丸となって子ども食堂や食育活動を展開している団体が山形県にある。



高校生と連携した食育活動の一環として、食育ミュージカルや料理教室を実施



#### 町の中心である駅の管理をしながら まちづくりや次世代育成に取り組む

山形県東置賜郡川西町にあるJR東日本米坂線羽前小松駅は、全国初の「町民駅」として、1982年から「羽前小松駅業務管理組合」によって運営されている簡易委託駅である。NPO法人「えき・まちネットこまつ」は、この羽前小松駅を、町から再委託を受け、駅での乗車券販売と駅舎管理を行うと共に、駅を拠点としたまちづくり、市街地活性化、地元農業高校との協働による次世代育成事業などの様々な活動に取り組んでいる。

同法人は、青少年や若者、子育て世代から高齢者までの多世代と連携しながら、多業種連携も含めた幅広い活動に実績があるが、こうした実績を考慮し、特に子育て世

代から子ども食堂やフードバンクを実施してほしいという要望が多かった。また、高校生と連携した食育活動の普及にも定評があり、さらなる活動の拡充に対する期待の声も多く寄せられていた。そこで、住民団体や既存の福祉団体、さらに地元の農業高校と協働で、子ども食堂と食育活動を柱とする新たな事業に取り組むことにした。

今や全国的な展開を見せる子ども食堂は、当初、片親世帯や貧困世帯の支援および子どもの居場所づくりとしてスタートしたが、最近では子育て世代のゆとり創出や子育て支援の場としての機能も備えるようにした。また、体と心を育むものとしての食育の重要性が高まってきた。こうした背景を踏まえ、同法人では子ども食堂やフードバンクを設立して食育活動を展開することで、子どもばかりでなく

親世代も含めた子育て支援の輪や絆を広げ、深めることを目的に当該事業を開始することにした。

#### 子ども食堂でテイクアウト弁当650食、 フードバンクで約1,600品目を提供

子ども食堂は川西町を中心に置賜地域から参加者を公募し、20世帯60名を集めた。昨年4月にスタートし、13回の開催でテイクアウト弁当650食を提供した。フードバンク活動では、7月から地元のスーパーマーケット4店舗の協力を受け、無償提供の食品を募集するフードドライブを設置し、毎週末に提供食品内容を回収し、3月末までに250kg、約1,600品目の提供を得た。この食品を希望家庭に配布するフードパントリーを月2回のペースで実施した。また、食育活動には、高校生や若者を中心に35名の応募があった。食育ボランティアの養成や食育ボランティアによる食育教室、食育人形劇や食育交流などが行われたが、伝統料理伝承教室、子ども農園での収穫体験、人形劇

公演など12回実施し、延べ約1,000人の参加者があった。食育交流は東京都杉並区や台東区で実施され、延べ80名が参加した。

「新型コロナの影響により計画通りの事業遂行は難しかったものの、月1回以上の子ども食堂開催、フリースペースや地区内施設を会場にした居場所づくり、地区内のスーパー・農家・JAに提供を依頼するフードバンクと食材の無償配布、食育ボランティアの養成、食育ボランティアによる子ども食堂支援や食育教室開催ならびに食育人形劇公演、食育活動の交流を実施することができ、片親家庭や困窮家庭はもちろん、地域の参加家庭から多くのお礼や称賛の声をいただきました。この事業にボランティアとして積極的に参加した置賜農業高校の生徒たちが、日本学校農業クラブ山形県大会最優秀賞、第25回ボランティア・スピリット・アワードでコミュニティ賞を受賞するなど高い評価を得たことも大きな成果でした」と、同法人では振り返っている。



高校生が中心となり子ども食堂でテイクアウト用のお弁当を提供



食品を希望家庭に配布するフードパントリーを開催

助成団体:特定非営利活動法人 えき・まちネットこまつ

<http://www.npo-ekimachi.org>



#### コロナ禍による制約の中で大きな成果を上げることができました

低所得層に対する公助はスピード感に乏しく、自助や共助を求めがちです。このような状況で社会貢献活動に取り組むNPO法人や公益団体に対して、POSCの助成は非常に効果的で、資金面に苦慮する団体にとってはまさに「神」です。自助、互助、共助、公助による支え合い社会の構築に欠くことができない貴重な助成事業であると深謝しています。衷心より御礼申し上げます。

特定非営利活動法人 えき・まちネットこまつ  
理事長 江本 一男さん